



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

禅の言葉

文星芸術大学附属中学校校長 中山一郎



最近、「優しい禅語」とか「癒しの禅語」などという言葉をよく耳にすることがある。

では禅語とは何か。極めて奥深い禅の思想を短く凝縮し、言葉という見えやすい瓶に詰め込んだもの、とても見えようか。しかしその瓶から取り出して使うのはそうたやすいことではないかも知れない。

そうした諸々の禅語、それを実際に実現するのは一般には難しいことも知らないが、それを読み、解説を読みながら日々の悩みを薄れさせていく。これが最近禅語がよく読まれている所以なのかも知れない。

もう十数年にもなるだろうか。金沢大教育学部(当時)の学会に参加した折に、一度訪ねてみたかった永平寺に行くことができた。ところがすでに閉門間際の時間で、入口からしか見学できなかった。それでも薄暗くうっそうとした杉の大木に囲まれた堂宇は神秘的であった。

その数年後、今度は「輪島の漆を見る旅」に参加する機会を得た。そこで再び永平寺を見学するチャンスに恵まれた。広大な寺域のほんの一部ではあったが、寒い時期でもあったし、禅宗(曹洞宗)の僧の厳しい修行の姿を垣間見ることができ、

信者ではないが何か荘厳な空気に浸っている自分を感じたことを今でもよく記憶している。

映画「禅ZEN」を見た。五年前である。ここでは道元が苦難の末に曹洞宗を起し越前の山中に永平寺を建立したという。その教え

文星芸大附now! は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

は、弟子に対して暖かさの中にも妥協を許さない厳しい修行を課し、育てていくのである。

私にとって禅の教えの何たるかは理解が難しいが、何となく共感できるようなのである。

『正法眼蔵随聞記』という書物がある。これは弟子の一人が道元の法話や教えを聴きながら筆録したものだという。最近図書館でこれを発見した。道元の著した『正法眼蔵』は難解だが『随聞記』の方が分かりやすく読みやすいと言われている。そうであるが、解説とともに読んでいても、それでも浅学の身には解り難い。

その根底を流れる教えの一つに「学貧(ひんをがくす)」があるという。「学道の人はずすべからず貧なるべし。財多ければ必ず其の志を失

- 1 p <巻頭言 中山校長より>
- 2 p <高校 インターハイ・全国大会出場>
- 3 p <高校 輝け!文星健児>
- 4 p <中学 社会科見学>
- 5 p <中学 体育祭>
- 6 p <文星フォトギャラリー>

ふ。名を捨て利を捨て一切へつらう事なかれ」と戒めている。

またよく聞く禅語に「啐啄同時(そつたくどうじ)」がある。雛が孵化する時、中からコツコツと殻をつつく。これを啐という。またこれに応じて親鳥が外からコツコツとつついてやる。これを啄という。この啐と啄がピタツと一致すると殻がうまく割れて丈夫な雛が誕生するという。

教育の効果を上げるには師弟間の呼吸が合うことが大切だといふとえである。文星の生徒諸君、積極的に知識の殻をコツコツとつついてみよう。先生方は直ぐに啄するだろう。

中学校行事予定

▽七月

- 18日(金) 第一期終業式
- 22日(火) 25日(金) 学校開放(一・二年)福祉体験(二年)ケアプラザ而令

▽八月

- 22日(金) 全校登校日
- 23日(土) 一日体験学習
- 25日(月) 26日(火) 職場体験(二年)
- 28日(木) 第二期始業式

▽九月

- 30日(火) 10月3日(金) 修学旅行(三年)

高校行事予定

▽七月

- 18日(金) 第一期終業式
- 26日(土) 野球応援(一年)(高校野球準決勝)
- 27日(日) 野球応援(二・三年)(高校野球決勝)
- 29日(火) 全校登校日(甲子園出場時)

▽八月

- 8日(金) 全校登校日
- 9日(土) 一日体験学習(宇河地区以外)
- 10日(日) 一日体験学習(宇河地区)
- 20日(水) 就職希望者登校日
- 28日(木) 第二期始業式

▽九月

- 2日(火) 校内漢字テスト
- 5日(金) 入試説明会(生徒臨休)
- 8日(月) 基礎学力テスト(普通一年)
- 16日(火) 19日(金) 修学旅行(二年)
- 19日(金) 20日(土) 第一回ハネッセ 駿台共催マーク模試(三年)

高等学校

夏季特別活動 期間の過ごし方

「誰かのために」
生徒指導部長 阿部 克美

この夏は、次のことを心掛けてください。

①よく考えて自分で決める

今後直面するあらゆる場面に必要なのは「自分で決める」ことではないでしょうか。決断・判断する力を養うとともに、より良い判断をするために「よく考えて」を入れることも大切です。その上で決めたことには「自分で責任を持つ」気持ちが必要です。

②人の役に立つ

東日本大震災以降、「自分さえ良ければいい」ではなく、「誰かの役に立ちたい」と思う人が増えたそうです。社会貢献や広範囲の協力の意識が高まってきたと言われます。どんな小さなことでも良いです。誰かのために行動してください。「ありがとう」と言ってもらえる体験が、将来の自分にきっとプラスになることでしょう。

「特活期間における

学習の留意点」

学習指導部長 中根 雅之

①一日のタイムスケジュールと、特活期間全体のスケジュールを立てる

注意点は、「詰め込みすぎない」こと。最低限取り組むべきことを考えて、やや低いハードルを最初から設定しておけば、必ずそれ以上は勉強できるはず。教科書やノートを読み直したり、問題を解き直したりするなど、第一学期の復習に時間を使ってください。②規則正しい生活習慣を心掛ける

起床・就寝、食事などの生活の基本となる時間は、学校があるときと同じになるようにしましょう。特に午前中は必ず勉強の時間にあてること。また、毎日の学習は決まった時刻に始めることが大切です。自宅では学習に集中できないのであれば、地域の図書館や市民センターなどの学習室を利用するのがよいでしょう。自己向上に最適な期間です。生活リズムを崩したり、宿題を後回しにしたりすることのないように注意して、有意義な特活期間を過ごしてください。

「就職にチャレンジ！」

就職指導部長 湊谷 浩司

今年も七月一日より求人受付が始まり、就職を希望する生徒は就職指導室へ求人票を貰いに、また、相談に来るなど活気に溢れている。この時期は、毎年求人関連の報道がなされるが、その中「売り手市場の到来などの言葉も聞くが、その言葉は、非正規社員に多く該当することであって、高卒の新規正社員枠にどこまで反映してくれるかが期待と不安である。たとえ求人が増えたとしても採用権は企業側であり、その採用レベルを超えないと内定はもらえないのである。

就職を希望する生徒諸君は、この夏休みの過ごし方が就職に大きく左右する。とは言ってもなく、どこまで自己覚醒、自己改革ができるか挑戦して欲しい。また毎年、多くの生徒が秋から始まる就職試験に向かい精神的にも人物的にも成長してゆく中、今年の三年生諸君も大いに成長し全員が内定を勝ち得ることを期待する。

全国大会出場

将棋部

私たち将棋部は、四月に行われた県大会の団体戦で優勝し、昨年度に続いて全国大会に出場することになりました。将棋の団体戦は、三人一組でそれぞれ対戦し、二人以上が勝利するとチームの勝利になります。

昨年度は、予選リーグの初戦から進学校として有名な開成高校(東京)と対戦し、三人とも敗れるスタートでしたが、その後は粘り強く戦って二連勝し、決勝トーナメント目前までいきました。今回は、昨年出場した二人を中心に、上位入賞できるよう精一杯頑張ります。



原田 拓 (2年1組) 岡本 一仁 (2年1組) 福田 雄太 (1年4組)

インターハイ出場

卓球部



廣田 匠悟 (3年6組)

六月に行われた県予選では、シングルスにおいて第三位となり、八月に山梨県にて開催

されるインターハイ本選への出場権を得ることができました。しかし、現状に満足しているわけではありません。悔いを残さないためにも残された時間を大切に、まず、精神力や体力を鍛え直し、苦しい試合でも我慢できる忍耐力を養いたいと思います。

新を二十点差で追いかける展開でしたが、自分たちの仲間を信じ最後まで諦めずに戦って、最後に逆転勝ちをすることができました。昨年のインターハイを経験した選手も多く、インターハイではベスト8を目指し、獅子王義で精一杯頑張ってください。



大会は千葉県船橋市 八月二日から

輝け!! 文星健児
部活動報告

七月末から開催される高校総体「2014 煌(きら)めく青春南関東総体」の県予選会(以下I日予選)が行われました。その主な結果等をご報告いたします。
※(英)英進科(普)普通科

バスケットボール部

I日予選 優勝!

全国大会へ

六月二十二日(日)栃木市体育館にて決勝戦が行われ、本校バスケットボール部は作新学院と対戦。

前半はリードを許し厳しい展開でしたが、第3クォーター、第4クォーターで逆転しました。一進一退の攻防を制し、見事優勝を果たしました。

卓球部

廣田選手I日出場!

六月七日(土)に行われたI日予選シングルの部に本校卓球部が出場。廣田選手(普二年)が準決勝戦で敗退し、へ全国大会出場権をかけた3位決定戦で鷺見選手(作新)を退け、3位入賞を果たしました。八月五日(火)から山梨県で行われる本選に

おいても全力を尽くせるよう、健闘を祈ります。

菊池選手国体予選優勝

七月五日(土)に行われた国体予選において菊池選手(普三年)が決勝に進出。小池選手(益子中)を退け見事優勝し、八月十六日(土)に行われる関東ブロック大会へ駒を進めました。

テニス部

I日予選団体準優勝

五月二十四日(土)、二十五日(日)、六月一日(日)に行われたI日予選に、本校テニス部が出場しました。

団体戦決勝、昨年の雪辱を果たすべく足工大と対戦するも敗れ、惜しくも準優勝となりました。

柔道部

I日県予選 団体3位

六月十四日(土)に行われた、I日予選個人の部に本校柔道部が出場。60kg級決勝で本校の松本選手(普三年)が飯島選手(国学院)と全国大会出場を争い、惜しくも準優勝となりました。また、73kg土屋選手(普三年)90kg伊藤選手(普三年)が3位入賞、団体戦も3位入賞を果たしました。

剣道部

I日県予選 団体3位

六月十三日(金)に行われたI日予選において、本校剣道部が準決勝戦で佐野日大と対戦。惜しくも敗退し3位に入賞しました。

駅伝部

川野・島山両選手
関東選手権出場!!

五月三十日(土)から六月一日(月)に行われた県陸上選手権において、本校の川野選手(普三年)が300メートル障害で5位、島山選手(普二年)が一万メートルで8位にそれぞれ入賞。八月二十九日(金)から神奈川県で開催される関東選手権に駒を進めました。

将棋部

七月五日(土)、六日(日)

に行われた全国高校将棋竜王戦県予選会に本校将棋部が出場しました。準決勝戦まで勝ち上がった原田君(英二年)と岡本君(英二年)でしたが惜しくも敗退。3位決定戦で原田君が勝ち3位、岡本君が4位入賞を果たしました。

検定合格状況(七月現在)

第137回日商簿記検定

(三級)

遠藤 岬 表谷周太郎
高橋 楓哉 成瀬 裕介

(三級)

瀬野尾拓也 相澤 大輔
朝妻 大輝 石原 溪太
磯 拓海 大澤 儀騎
大島 佑基 粕谷 優貴
神永 友貴 鴨田 諄
岸 隼 小暮 流星
櫻井 崇正 佐藤 大雅
杉山龍之介 鈴木 峻太
関 星矢 高橋 優斗
塙 圭人 中山 龍斗
難波 志遠 星野 淳悟
渡辺 光亮

第128回全商電卓検定

(一級)

内川 渚生 木村 哲也
三森 崇弘 渡邊 大雅

【計算部門一級】

北原 裕大 鈴木 陽太

【ビジネス計算部門一級】

加藤 匠

【ビジネス計算部門三級】

荒井 大輝 飯島 海人
岩本 康太 大村 浩平
見目 頼紀 鈴木 陽太
原 健斗 人見 英範
細谷 祥吾 細谷 泰希
加藤 将人 亀田 有季
小林 隆盛 角田 舟
海野 開吏 岡川 彬人
涌井 隆行 磯 守峰
菊池 健司 君嶋 竜一
久保田 伸 小森谷将太

齋藤 友輔 清水 智尊
村瀬 淳哉 山口真之介
山口 拓馬 山中 透
吉澤 翔吾

新任職員紹介



美弘 弘
駒場 (警備)

六月より本校に警備員として勤務することになりました。私は昭和四十七年に本校を卒業し四十二年の歳月を経て再び門をくぐるこゝとなりました。一生忘れられない学校生活を送ってもらえるよう環境美化に努めたいと思っております。

文星散歩道

(題字 大木校長)

③〇 サポーターのゴミ拾い

保健体育科 富田 健 作

六月、七月と世界中を熱狂させたサッカーWカップ大会。生徒の皆さんも朝早起きして日本代表を応援した人も多くいたのではないかと思います。私もその一人です。残念ながら日本代表は予選トーナメント敗退してしまいました。テレビや新聞などで多くの特集が組まれ、サッカー一色だった二か月間だったと思います。そんな中、私が心を打たれた事がありました。なんと

と現地に行つて応援していた日本人サポーターが「ゴミ拾い」をしていた。という記事です。この記事によると「日本時間十五日のコートジボワール戦に続いて二十日のギリシャ戦後スタンドで「ゴミ拾い」していた日本人サポーターに世界中から注目が集まっている。」と書いてありました。サポーターは「応援の為に持ってきたゴミ袋がそのままゴミになってしまふのはカッコ悪い」汚れたら掃除をす

るのは当たり前」と話していました。海外メディアは「試合には負けたが日本の教育と礼儀を見た」など絶賛していました。サポーターの人達が言っていた「当たり前」を普通にやるのが一番難しい。でも、当たり前前の事を普通に出来る人がカッコ良いと思います。本校の生徒の皆さんも「当たり前」の事を普通に出来るカッコ良い大人を目指して欲しいと思います。

中学校

夏季特活の過ごし方

いよいよ皆さんが待ちに待った夏季特活が始まります。そこで夏季特活期間の過ごし方についていくつかの留意点を述べますのでこのことをよく考え生活してください。

まず一つ目はしっかりと計画を立てるということです。学校行事を確実に把握し、課題などは早めに終わらせるように考えましょう。二つ目は「危うき」に近いかなこと。夏は水の事故などが増えてきますので十分に注意しましょう。また学校は休みですが、本校の生徒として自覚を持ち行動してください。

三つ目は家族とのコミュニケーションを大切にすることです。学校から離れ家庭中心の生活となるので、小さなことでも家族に報告や相談をしましょう。以上三つのことに留意し、有意義な夏季特活をおこなってください。

二期の始業式に成長した諸君に会えることを楽しみにしています。

第二学年 職場体験を控えて

中学校二年生は八月二十五日と二十六日の二日間職場体験活動を行います。働くことの尊さを実感し、社会のためになることを積極的にやる態度を身に付けるべく、一つ一つ準備を進めているところです。

五月に職場体験する事業所を決定し、六月には電話連絡を済ませ、七月は各事業所へ赴き、体験活動内容が明らかになりました。

一事業所につき、多いところで八名、半数以上が一人という状況ですが、二十八事業所にお世話になって、皆さんが貴重な体験ができることは感謝しましょう。職場体験学習は、他の学校行事とは違い、社会の一員となつて、実体験できることから、必ずやその成果は皆さんの役立つものとなるでしょう。



ボランティア実践 足尾植樹体験

五月三十一日(土)に日光市の足尾に赴き、ボランティア活動の一環として、植樹体験を行いました。本校では、開校以来この取り組みを続けており、今回は、栃木県造園業組合の方々のご協力をいただき、全学年で行いました。

実際の植樹体験では、造園業組合の方々から、ご指導をいただき、穴を掘って、丁寧に木を植えていきました。また、今まで先輩方が植樹した場所に見学にも行きました。

今回の経験は、生徒たちが、自然環境保護について考える良い機会となりました。



1年生全員で

社会科見学

六月六日(金)の創立記念日に、中学生は社会科見学の足利方面に行きました。

今年度は栃木県の歴史に触れることを目的に、足利学校 鏖阿寺(足利氏宅跡)、足利市立美術館の見学を行いました。事前のオリエンテーションで、その歴史について学習をしていたこともあり、見学を通して各自が古に想いを馳せました。

足利学校では、論語の素読体験を行いました。約三十分間正座をして、講師の方からご指導いただきました。鏖阿寺では、大雨の中での見学となつてしまいましたが、生徒たちは真剣な面持ちで見学していました。

足利市立美術館では、相田みつをの書と、その書と関係の深い入江泰吉の写真とのコラボレーション作品を見学しました。



足利学校にて

Y M C A 留学生来校

七月八日(火)に、Y M C A イングリッシュスクールとちぎ宇都宮校の留学生(十三名)が来校し、交流授業を行いました。今回は中学生だけでなく、英進科の高校生も参加しました。

三年生の体育の授業では、剣道を行いました。日本の伝統文化である剣道に触れた留学生はとて興味をもって体験していました。二年生では、家庭科の授業で洗剤を使った実験をしたり、ランチを一緒に食べ、交流を深めました。一年生は、音楽の授業で「エーデルワイス」の楽曲を英語と日本語で歌い、ランチも一緒に食べました。生徒たちは普段学習している英語の力を存分に発揮し、生きた英語を学ぶことができました。



剣道体験

生徒の感想

一年一組 鹿野 隼人

Y M C A 留学生と一緒に音楽の授業で歌を歌ったり、ランチを食べたりしました。音楽の授業ではマナーの違いにびっくりしました。授業中飲み物を飲んでいるのを見て驚きましたが、これは「あつていい違い」だと思います。初めに英語で自己紹介をしました。「あなたはおもしろい人ですね」と言いたかったのですが、言えなくて困ってしまいました。来年はもっと自分がレベルアップして、今回よりも留学生と仲良くなりたいです。また、留学生の人達はジェスチャーもしてくれて、わかりやすいように話してくれました。言葉が通じなくても友達になれるというのはこういうことかと今回思いました。



ランチで交流

体育祭



女子は「ポニーテールとシュシュ」を踊りました

六月十四日(土)、良く晴れた空の下、高校英進科と中学校の合同体育祭が行われました。第一回目ということもあり、生徒・教員が一丸となって、手探りで準備を重ねてきた体育祭でしたが、一か月以上前から練習した成果を、各自が存分に発揮できたのではないのでしょうか。

中学校一年生から高校三年生までを縦割り班で六色のチームに分け、ダンシング玉入れや応援綱引き、全員縄跳び、各色対抗リレーなど、本校オリジナルのユニークな競技で競い合いました。その他にも、高一・高一の女子全員のダンスや、高校生有志による二人三脚なども盛り上がりました。

体育祭実行委員長

英進科 三年一組

吉田 颯人

総合結果

優勝 赤組 二二〇点

準優勝 青組 二一〇点

スローガン 最優秀賞

「6色の炎が燃える体育祭」

中学校 一年一組

鈴木 彩花

シンボルマーク 最優秀賞

英進科 三年一組

吉田 颯人



シンボルマーク

中学校 三年一組

神山 颯季

募集には自分の持つすべての能力を注ぎ込んだ。そして本番では誰よりも縄を強く引き、完治するまでに一週間もかかる程の怪我をした。果たして、本番での盛り上がるのどれ程が私の行動の成果であったのかは分からないが、体育祭を盛り上げることに大きく貢献したと、私のことを思ってくれたら嬉しい。

チームは、お互いの信頼関係が良くなければならな

いと思います。優勝するためには、チーム一丸となることが重要だからです。私たち赤組は、長縄や綱引きなど団体競技の時に、団結するためにみんなで声を出しました。また、リレーのように一人でチームのために頑張っている人に対しては、周りのみんなが応援しました。だから、赤組は優勝できたと思います。この体育祭を通して、団結することが必要不可欠であることを学ぶことができました。

中学校 三年二組

小堀 優輝菜



ダンシング玉入れ

私が頑張ったのは、まず大縄です。練習で引っかけてしまっても多かったのですが、本番では引っかからずに跳べました。また、綱引きでは我が緑チームは優勝することができました。応援綱引きでは、全力で走って、一生懸命綱を引いた

関係が良くない人たちが多く、私自身も頑張れたと思います。誰もが「勝ちたい」という気持ちでいたので、それが全

力をつくすということに繋がったのだと思います。また、協力すること、先輩と後輩との関わりの中でコミュニケーションをとることの大切さも学びました。学年や性別も関係なく会話することなどができたので良かったです。



応援綱引き

部活動 夏の大会案内

七月十九日(土)より、宇河地区総合体育大会が行われます。本校の運動部も剣道部、ソフトテニス部、卓球部が出場予定です。

【剣道部】

七月十九日(土)

男子団体・女子個人戦

七月二十一日(月)

女子団体・男子個人戦

【ソフトテニス部】

七月十九日(土)

二十一日(月)

男子個人戦

【卓球部】

七月二十日(日)

男子団体戦

二十一日(月)

男・女シングルス戦

二十三日(水)

男子ダブルス戦

総合ビジネス科
総合体験



中高一貫棟
体育祭



普通科
美術デザインコース
パンフレットデザイン
総合コース
アーク溶接



宇都宮市民芸術祭 秀作 作品 『生命』

3年 鈴木庸介



中学校
体育祭
社会科見学
植樹体験



中学校
YMCA 留学生交流会

